

借入金の状況

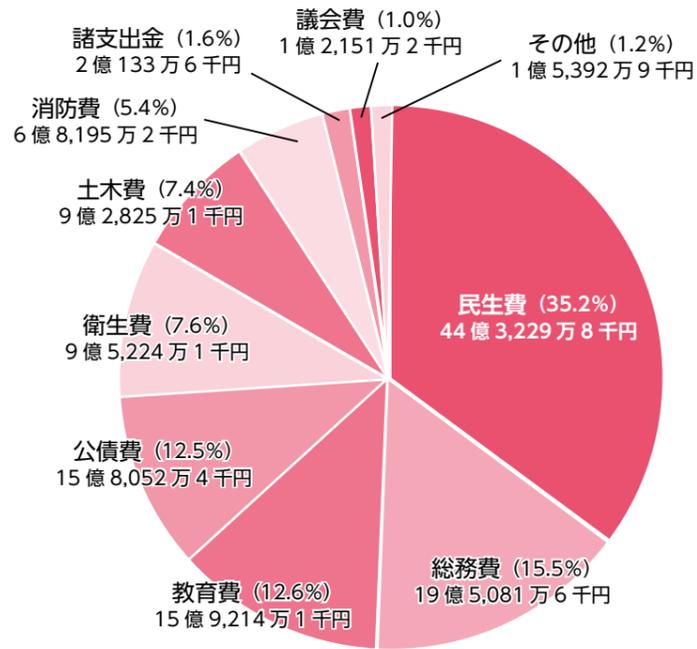
▶ 年度末借入金（地方債）残高 一般会計の残高

平成30年度決算額	約142億円
令和元年度見込額	約137億円
令和2年度見込額	約128億円

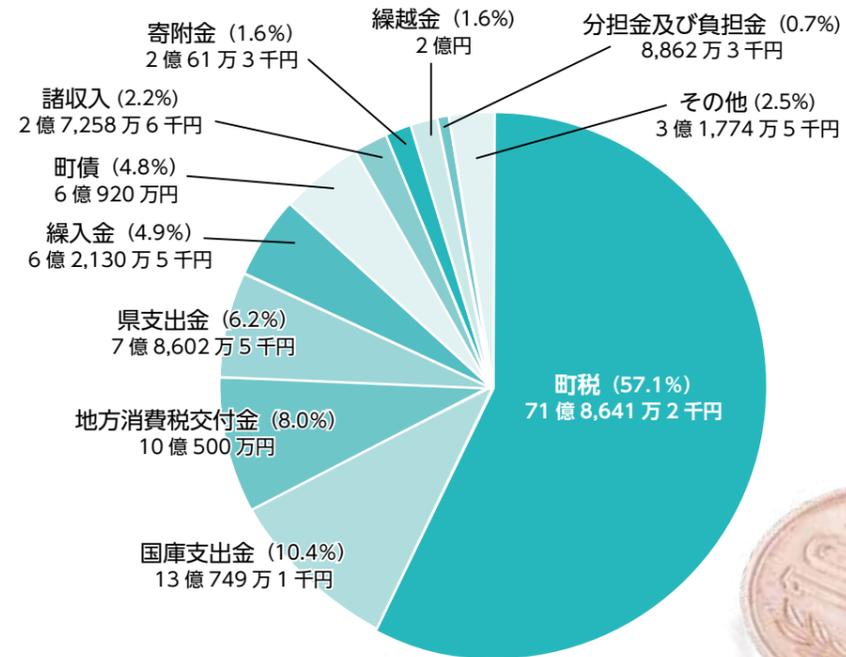
令和2年度は地方道路等整備事業、小学校施設整備事業、(仮称)令和の森公園整備事業等における事業費の財源を確保するため、借入れを予定していますが、年度末借入金残高については、令和元年度見込額と比較し減額となっています。



一般会計の歳出



一般会計の歳入



令和元年度 一般会計予算額

120億 2,395万円

令和2年度 一般会計予算額

125億 9,500万円

令和元年度から
5億 7,105万円の増額（一般会計）

令和2年度 三芳町の

予算

町では、厳しい財政状況の中、限られた財源を活かしサービスを行っています。税金がどのように活かされているのか。令和2年度予算案の概要をご報告します。☎財務課④415

厳しい財政状況

町の財政状況は、財政調整基金残高の改善傾向が見られるものの、町税の減収等厳しい状態が続いております。

こうしたなか、令和2年度三芳町一般会計予算案を作成し議会に上程しました。予算が決定することは、町が行っていく事業を決定したことになります。今年度の予算案を公開します。

一般会計の概要

町の自主財源である町税の減収の一方で、「福祉・医療・介護」などの社会保障経費や公共施設の老朽化対策等の将来負担増が見込まれます。これらの将来負担を見据え、限られた財源の中であつても行政サービスの低下にならないよう、既存事業や新規事業等を十分に精査し予算を編成しました。

予算総額は125億9500万円、前年度と比較して4.7%の増額となっています。歳入の主なものとしては、町税が全体の57.1%を占め、国庫支出

金10.4%、地方消費税交付金8.0%、県支出金6.2%、繰入金4.9%、町債4.8%などです。

歳出の主なものとしては、民生費が全体の35.2%を占め、つづいて総務費15.5%、教育費12.6%、公債費12.5%、衛生費7.6%、土木費7.4%となっております。

また主な事業としては、オリンピック・パラリンピック事業、スマートIC利便性向上促進事業、学校トイレ洋式化改修事業、公共交通補助事業、ふるさと納税推進事業、町制施行50周年記念事業などを予定しています。

特別会計の概要

特別会計は、予算を使用する用途が限定されています。一般の歳入歳出予算と区別して行われている会計です。町には国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険の3つの特別会計と水道、下水道の2つの企業会計があります。

特別会計の中でも国民健康保険は、平成30年度から埼玉県と

特別会計予算

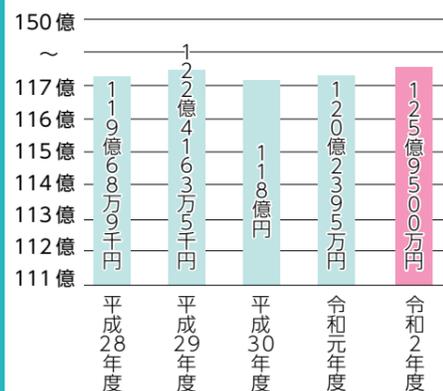
特別会計項目	当初予算等金額	前年比	問い合わせ	
国民健康保険特別会計	3,558,473千円	△6.30%	住民課保険年金⑩154	
後期高齢者医療特別会計	539,042千円	9.07%	住民課保険年金⑩157	
介護保険特別会計	2,887,020千円	11.15%	健康増進課介護保険⑩184	
水道事業会計	収益的収入	840,918千円	△1.21%	上下水道課水道業務 上下水道課下水道業務 ☎049-274-1014
	収益的支出	830,707千円	△0.43%	
	資本的収入	104,700千円	△33.54%	
下水道事業会計	資本的支出	336,202千円	△5.11%	
	収益的収入	878,105千円	△0.23%	
	収益的支出	743,158千円	△1.73%	
	資本的収入	89,129千円	19.65%	
	資本的支出	284,598千円	0.37%	

の共同運営になりましたが、依然として厳しい財政状況です。また、後期高齢者医療についても年々被保険者数が増加し、医療費も増加傾向にあります。各保険とも、保健事業や医療費適正化事業に力を入れ、財政運営の健全化につなげていきます。

介護保険は、高齢者の増加や介護サービスの利用増が見込まれ、前年度よりも増加となりました。

企業会計の水道事業では、継続的な安定給水のため、本年度も自家発電機設備更新と配水管布設替を行います。下水道事業の主な事業は、中継ポンプ場のポンプ更新を行います。

一般会計 当初予算の推移



過去5年間の推移